

学位授与方針 [修士(工学)] [修士(学術)]

(1) 機械システムコース

■ 知識・理解

- 機械工学の専門的学力を有し、かつ「エネルギーシステム分野」あるいは「設計加工システム分野」のいずれかの学問分野における実践的知識をもつ。

■ 技能

- 機械工学の専門的技能を習得する。また、実践的な技術開発能力を身につけ、機械システム技術者として広く活躍できる能力をもつ。

■ 思考・判断・表現

- 環境と調和したエネルギーシステムの構築など、環境を踏まえて広い視野で新たな問題に対処できる思考力・判断力を有する。また、研究活動で得られた成果を論文としてまとめ、発表できる能力をもつ。

■ 関心・意欲・態度

- 資源の有効利用や省エネルギー技術に関する既存の技術に習熟し、新たなエネルギー関連技術の開発への強い関心と意欲をもつ。

(2) 建築デザインコース

■ 知識・理解

- 建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として理解し、総合的な視点から建築学の本質を理解しその高度専門知識をもつ。

■ 技能

- 建築を安全にする能力、快適な空間を提供する能力、芸術性を表現する能力、クライアントに自分の提案を表現する能力等、高度建築技術者に必要な種々の能力をもつ。

■ 思考・判断・表現

- 建築学における社会的現象に対して国際的視点から課題を抽出して、その解決のための自らの思考・判断のプロセスを説明し、それを学会、国際会議、修士論文発表を通して研究発表できる能力をもつ。

■ 関心・意欲・態度

- 地域や組織の中で他者と協力して計画的にプロジェクトをまとめ、修士論文、作品などを完成させる能力を有すると共に、環境との調和を考慮して人間の尊厳を尊重する技術者の倫理観に基づく問題解決の意欲、態度をもつ。

教育課程編成・実施方針

多岐に亘る工学の諸分野を国際環境工学の視点で関連付けた教育課程により、社会が求める学際的問題解決について、高度な技術や研究の面から取り組むことのできる人材の育成に努める。

- 「共通科目」・「基礎科目」から4単位以上を修得する。「専門科目」から18単位以上修得する。「特別研究科目」から8単位を修得する。

□ 共通科目

本研究科で養成する人材に対して共通して備えておくべき次の能力を養成することを目的とする科目区分とする。

- ① 技術者として国内外で実践的に活動する際に必要となる情報を収集し伝達する能力。
 - ② 安全、倫理、知的財産権など技術者としての社会的責任を正しく認識できる能力や実践的活動に直接関わる際に必要となる社会的、文化的知識および柔軟な理解力・応用力。
- 全ての科目を選択科目とし、少なくとも2単位以上を修得する。

□ 基礎科目

次の二つの教育的配慮を施すことを目的とする科目区分とする。

- ① 専門分野に関する知識・スキルが十分でない場合に、研究領域の基礎となる内容を提供し、専門分野の教育が円滑に行われるよう配慮すること。
- ② 大学院で研究する際に必要となる境界領域的な知識について、基礎となる内容を提供し横断的な教育が行えるよう配慮すること。

□ 専門科目

(1) 機械システムコース

機械システム工学技術者として、環境負荷の低減と経済発展の両立を“持続可能な開発”と捉える視点及び環境改善を第一の目標とする視点を持つことのできる人材、また、グローバルな視点を持つ技術者及び研究者の養成を目的とする科目区分とする。所属するコースから10単位以上、他の専攻、他のコースから4単位以上を修得する。

(2) 建築デザインコース

未来へ繋がる建築を実現出来る高度な専門的知識と国際的な場で活躍できる高い能力を身につけ技術者倫理を理解した技術のわかるデザイナー、デザインのわかる高度専門職業人及び研究者の養成を目的とする科目区分とする。所属するコースから10単位以上、他の専攻、他のコースから4単位以上を修得する。

□ 特別研究科目

研究能力や高度な専門技術を身につけるために直接、個別指導を受ける必修の科目区分とする。

※ なお、学部・博士前期課程一貫教育を実践するために、各コースで指定された専門科目について、国際環境工学部4年次生を対象に早期履修を認める。

入学者受入れ方針

環境工学専攻博士前期課程では、以下のような人を求めています。

- 環境問題について幅広い関心を持っている人
- 専攻する学問分野の基礎を備え、高度な専門性を身につけるための努力をいとわない人
- 創造力と自主性を備え、先端研究分野に挑戦する意欲を持っている人
- 技術者・研究者に必要な一定の教養・倫理観を身につけている人
- 日本語・英語のコミュニケーション能力の向上に意欲を持っている人

(1) 機械システムコース

- 機械工学の基礎的な知識及び技術を修得しており、その知識及び技術をより高める意欲を持った人
- 環境負荷の低減と経済発展の両立を“持続可能な開発”と捉えるとともに、グローバルな視点を持って活躍できる機械技術者及び研究者を目指している人

(2) 建築デザインコース

- 未来へ繋がる建築を実現できる高度な専門知識と国際的な場で活躍できる高い能力の習得を目指している人
- 技術のわかるデザイナー、デザインの分かる高度専門職業人及び研究者を目指している人